

2023年度 入試問題集

静岡英和学院大学短期大学部

○現代コミュニケーション学科 ○食物栄養学科

2023年度入学者選抜小論文問題

選抜区分・名称	学 科	問 題 文
学校推薦型選抜 公募 Ⅰ期	食物栄養学科	<p>次にあげる問題文について、あなたの考えを800字の文章で表現しなさい。なお、文章はすべて解答用紙に記すこと（ただし、解答は横書きで、句読点も一字と数える）。</p> <p>【問題文】</p> <p>地産地消について、食の循環や環境への意識、日本や世界の食糧問題の観点からあなたの考えを述べなさい。</p>
特別選抜 社会人一般 後期	食物栄養学科	<p>次にあげる問題文について、あなたの考えを800字の文章で表現しなさい。なお、文章はすべて解答用紙に記すこと（ただし、解答は横書きで、句読点も一字と数える）。</p> <p>【問題文】</p> <p>次世代に伝承したい日本の食文化や伝統料理、郷土料理について、具体的な名称をあげてあなたの考えを述べなさい。</p>

二〇二三年度

静岡英和学院大学短期大学部

・現代コミュニケーション学科
・食物栄養学科

一般選抜 一般

一般スカラシップ選考試験

推薦スカラシップ選考試験

国語

※ 配られた問題冊子が正しいかどうか確認してください。

※ 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。

※ 「解答はじめ」の指示後、必ず受験番号と氏名とを記入してください。

※ 問題冊子は持ち帰ってください。

一 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

哲学の仕事について、田中美知太郎はきわめて平易な言葉で、しかしきわめて決定的なことを述べている――

哲学を学問の学問というようなかたちで、いつも他の科学との関係ばかりで考え、他の学問と同じようなものと、わたしたちは考えがちです。しかし「すべて」を欲する哲学は、ただいろいろな学問科学とのみ、交際することに甘んじえないで、人生の実際に、もつと直接に交渉しようとするものだと、考えてもいいのではないのでしょうか。つまり、他の専門科学をとおしてではなく、また他の専門科学のようにでもなく、哲学は哲学として、生活の実際につながりをもつということですから。〔……〕

問題は、「知る」ということを愛し求める哲学が、いま見られたように、わたしたちの生活を変えような仕事と、どのようにしてつながってくるかということでしょう。ソクラテスの考えに従えば、²「知る」ということは、「おこなう」ことになるのです。そうならない知は、まだ「知」ではないわけです。医学の知識は、病をいやし、健康をもたらすのであり、建築の知識は、家をつくる。病を治さぬ医学の知識、家をつくることのできぬ建築の知識というようなのは、無意味だということになります。哲学のためには、このようなつながりが必要なわけで、そのためには、哲学の求める智も、単に知られるものについてだけ考えられる知ではなくて、知る者を医者にし、建築家につくる、ひとつの力としての知でなければなりません。これらは現実に、技術として存在しています。哲学は、それらの技術の技術でなければならないのです。〔『哲学入門』〕

田中がこう語ることの前提として、哲学は、最初にある **チュウショウ** (切り捨て) をおこなったうえでそこから見えてくる問題を突きつめる科学とは異なり、つねに知の「すべてに気をくばる」ものだという考えがある。そのうえで彼は、哲学が「知の知」である以上に「技術の技術」であると、ここでいっている。この「技術の技術」としての哲学のあり方については、少し補足しておく必要がある。

A

技術にはいくつかの種類があると、田中はいう。「それまでは存在しなかったものを、新たに存在させる仕事にかかわる技術」がまずその一つである。次に、何かをつくり出すのではなく、「既に存在しているものを、何らかのかたちで処理する技術」がある。これには、「既に存在しているけれども、まだわたしたちの所有とはなっていないものを、わたしたちの所有にうつす技術」や、「既に存在しているものを、区別し、品種分けする技術」が含まれる。知の新しい地平の発見や、「批判」という哲学の作業も、技術という観点からすればここに含まれる。そして三番目に、「つくり出された

もの、既に存在するものを使用する、うまく用いる技術」がある。いずれの技術にせよ、技術には目的というものがある。ちなみに、目的をもたない技術は「遊び」である。

純粹に観想的な知(注3)というものもたしかにあって、たとえば天文学などは「見る」だけのものである。近代科学の誕生とともに「見る」ことに技術が結びつくようになり、「見る」はただ眺めるだけでなく、その対象を動かし、操作して眺めるようになったが、しかし、観測がどのような装置でなされるかはさて置いて、それでも「見る」が目的であるかぎりには、それは観想的な知と違っていいだろう。一方、技術の目的は「見る」にはなく、「つくる」ことにある。「発見」ということも、なかなか新しい存在を「視界のうちにとり入れる、捉える」ということが目的となっていてるのであれば、それは技術の仕事ということになる。そうすると「知る」ということを媒介とする「生き方」としての哲学は、「見る」ことと「つくる」ことの間にあつてそれらを結びつけるもの、つまりは先の第三の技術、「使用」の技術としてあるということになる。このばあい、「使用」の技術とは、「目的と手段をつなぐ技術」であり、わたしたちの行ないの最終目的は、「そのために他のすべてのことがなされる」こととしての「幸福」なのであるから、そこから、哲学は、「何のために」、「何を」ということが、いろいろに考えあわされる、大きなつながりのうちで、人を動かし、物を動かすこと」としての《政治》の技術をも含めて、「最上の道、最善の工夫を求める技術」とあるといえる。科学技術がその本来の目的を逸脱して、それを使いこなすはずのわたしたちを逆に支配し、統制するようなものに、ハンテンcしている現代にこそ、そうした「技術の技術」としての哲学がふたたび呼び戻されねばならない……と、そのように田中は論じたのである。

B (b)で求められる「確かさ」は、基礎づけられてある (based/founded/grounded)、明晰・判明である (clear and distinct) というのではなく、さらには証明されてある (demonstrated)、検証されてある (verified) というのでもなく、むしろ「納得できる」とでもいうほかない、さらに別の了解の仕方であるのかもしれない。そしてこの「納得できる」は、これまでの言い方であれば、妥当である (validated) ということに近いのかもしれない。しかし妥当であるということのさらにその根拠を、ふたたび基礎づけや明瞭化、証明や検証に求めるのでは意味がない。そこには、これらとは異なる了解の仕方、合意の仕方というがあるのでなければならぬ。それは命題内容についての意味論的基礎とは別のところに根をもつ合意である。

C 「納得」、つまりおよそ正解なるものがないところで得られる合意とは、そもそもどのような性格のものでありうるだろうか。家裁(注4)の調停員をかつてやっていた知人の経験によれば、離婚の調停において、双方がそれぞれの言い分をとことんぶつけあって、「もう万策尽きた」「もうあきらめた」と観念したとき、まさにそのときにかろうじて話しあいの道が開けるのだという。訴えあいのプロセス、議論のプロセスが尽くされてはじめて開けてくる道がある、と。解がここに下りてくるということではない。「理解できないけれど納得はできる」「解決にはならないけれど納得はできる」という事

態が生まれるというのである。このような「納得」は、果てしのない議論から双方が最後まで下りなかつた、逃げなかつたということの確認のあとにしか生まれてこないものだろう。長くて苦しい議論、譲れない主張の応酬の果てに、そんな苦しいなかで双方が最後まで議論の土俵から下りなかつたことにふと思いがおよぶ瞬間に、はじめて相手に歩み寄り、相手の内なる疼きをほんとうに聴くことができるようになるのだろう。そういう類の「確かさ」も、わたしたちの思考や議論にはいわば作法としてありうるのだ。そして、そういう「納得」をもたらすはずの時間、あるいはもたらすことに通じる時間を、哲学もまた「サクジヨ」してはならないようにおもわれる。

(鷲田清一『哲学の使い方』による。ただし、本文の一部を省略、改訂した箇所がある。)

(注) 1 田中美知太郎——日本の哲学者(一九〇二—一九八五)。西洋古典学、とりわけギリシア哲学を研究した。

2 ソクラテス——古代ギリシアの哲学者(前四七〇—前三九九)。己の無知を自覚するがゆえに知を求めるありかたこそ、人間の本来あるべき姿と考えた。

3 観想——実利実益から離れて対象をとらえようとする知的態度。

4 家裁——家庭裁判所の略称。

問一 傍線 a、e を、漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

問二 傍線 1 「人生の実際に、もっと直接に交渉しようとする」と同じ内容を分かりやすく言い換えている部分を、本文から二十五字以内で探し、その始めの五文字を抜き出しなさい。(ただし、句読点も字数に含める。)

問三 傍線 2 「知る」ということは、「おこなう」ことになる」とあるが、どういうことか。その説明として最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 田中美知太郎によると、哲学の仕事とは、知の「すべてに気をくば」り、うまく使用することであるということ。

イ 鷲田清一によると、哲学とは、「納得」という理解の仕方に至って初めて人間の生活実感を確認に語ることのできるものであるということ。

ウ ソクラテスによると、哲学の愛する「知る」という営みは、他の専門的な技術を介してのみ、わたしたちの実際の生活につながることでできるということ。

エ 田中美知太郎によると、哲学とは目的をもたずに単に対象を知ingことを求める技術であり、目的をもたない点で「遊び」であると言えるということ。

オ ソクラテスによると、「知る」ということは、単に知識を有する状態を指すのではなく、知識

を生かして実践する状態であるということ。

問四

次の段落は、この文章の一部を抜き出したもので、文章中の空欄 A C のいずれかを埋めるものである。次の段落を入れるのに最も適当な箇所を A C から一つ選び、その記号を書きなさい。

「知の知」としての哲学ではなく「技術の技術」としての哲学という、そのような見地に立つならば、語りの「確かさ」の規準もまた、知の基礎論としてこれまで探究されてきた《基礎づけ》（根拠づけ）とは別の次元に求められねばならないことになる。それはおのれの可能性と限界とについてたえず問いただすこととして、いわばジグザグと試行錯誤の途を歩むほかないだろう。なぜなら、「何のために」、「何を」ということが、いろいろに考えあわされる、大きなつながりのうちで、人を動かし、物を動かすこと」としての《政治》の、そして哲学の技術において、ひとは最終的な解が見えないままに、しかも最上の確かさを求めて思考を続けなければならないからである。

問五

傍線 3 「哲学は、「見る」ことと「つくる」ことの間にあつてそれらを結びつけるもの、つまりは先の第三の技術、「使用」の技術としてあるということになる」とあるが、どういうことか。その説明として最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 哲学は、既知・未知にかかわらず種々の対象を捉え、幸福という目的のためにそれらをうまく使いこなす技術であるということ。
- イ 哲学は、対象を観察して思索をめぐらすことに留まる技術であり、それを用いて新たなものをつくるという段階にはない学問であるということ。
- ウ 人が幸福を求めて生きる中で、「見る」技術、「知る」技術、「つくる」技術は、そのどれもが欠けてもいけない密接不可分のものであるということ。
- エ 哲学とは、人々が幸福に生きるために、為政者が民衆について理解を深め、支配をする目的で使用する、政治の技術でもあるということ。
- オ 人が使いこなすために発達させてきた科学技術に、逆に人が使われるようになった現代でこそ、正しく対象を知ることが必要であるということ。

問六

この文章のタイトルとして最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 哲学による語りの「確かさ」
- イ 「知の知」ではなく「技術の技術」
- ウ すべてを指向し思考する哲学

エ 目的をもたない技術としての哲学
オ 技術の種類について

問七

この文章の内容に合致しているものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 科学技術の発展に伴って生活が便利になるにしたがって、わたしたち人間は、自らの「幸福」という目的のために、他のすべてを支配し統制しようとするようになった。
- イ 哲学とは、人間の「幸福」を実現するために、知の「すべてに気をくば」り、試行錯誤を繰り返しながら、人びとが最も「納得」できるような工夫を追究する技術であると言える。
- ウ ソクラテスの考え方に従うと、病を治さぬ医学の知識、家をつくることのできぬ建築の知識にも、対象を知っているという点においては意味があるので大切である。
- エ 哲学は、知られる対象についての余計な情報を切り捨てたうえで、そこから明らかになってくる問題点を追究し、明晰な証明をしようとする思考の営みである。
- オ 純粹に観想的な知というものは、近代科学においては、「見る」が目的であるかぎりには、既存のものを「使用」することに結びつかないため、技術と言うことはできない。

二 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

本を読む人が少なくなった。本らしい本を読む人の姿が見えない。

どうして読書が必要か。若い世代の人たちに、それを教えなくてはならない。そう感じるおともも「読書 ^aフザイ」の時代のなかで、ことばが見つからない。うまく説明できない。おともも、本を読まなくなったからだ。実用的な本は話題になるが、教養とつながるもの、思考力をためす書物は、遠ざけられる。会社に入るときも、入ってからも、書物への意見を求められることはない。時代に合わせ、ⁱあたりさわりのない話をして過ごす。それで十分生きていける時代なのだろう。

ぼくの教え子が、社会に出る。面接の人から、質問をされる。「何をしたいのですか」ときかれたとき、彼女は「文学です」と答えたそう。少し説明をしておく、彼女はとてよく本を読む。それも、内容のある、いい読書をしている。話しても、なかなか深いことをいう。知識もあり、いろんな面でセンスのある人なので、「文学です」とストレートに答えても、人に悪い印象を与えないはずだ。「文学です」という答は、かざりものではない。¹その人と、しっかりとつながることばなのである。だから、「文学です」と言いましたと報告する彼女に対して、ぼくは、何も言えない。それでよいと思うからだ。ところが就職のための場面で、こういうことは言ってはならない。読書の話題としても、会社の人たちは、よろこばない。会社にとって、読書が必要ではないためだけではない。今日の人間のする話題として不適切なのだ。だから、こういうときは「本を読むのも好きです」くらいにとどめておいたほうがいい。

だが、そうは言っても、ぼくはこの「文学です」と、はっきり答えることのできる人を、軽くみたくない。だいにじに考えたいという思いがある。こちらが文学にかかわっているから、そう思うのではない。相手に合わせる話ができたらとあって、どうなのか。それでいいのか。²人間はそんなものなのかと思うからだ。そうか。文学か。では、どんな本を読んでいるのか、この学生にきいてみよう。うちの会社にはどうかと考える前に、話をききたい。だいにじなことだ、きいてみよう。こちらも勉強になるから。というふう面接の人は思うべきなのだ。少なくとも、そのような幅がほしい。人を見るときは。

文学は、厳密な文章表現をとおして、人間の思考や想像の力をつくってくれる。人間そのものをつくる。^bムソウではない。現実的なはたらきをするものだ。になうものだ。これまでも書いたことだが、「文学は実学である」とぼくは思う。文学をだいにじにしなくなったために、本を読まなくなったために、心が崩壊し、各地で人間性のかけらもない犯罪が多発する。そしてそのために人はいま不安な現実社会のなかに置かれている。もちろんすべてのできごとが、読書をしなくなったために起きるとは思えない。しかし、読書を遠ざけたあたりから、不思議な社会が生まれた。だから面接官としては、こういう人は、会社のなかに来てくれれば、だいにじなところで大きな力になるのではないかと、そのように感じて、一人の、眼の前の人を見つめる。そんなひとときがあつてほしいのだ。でも、そ

れはいままず不可能だろう。とはいえ、ぼくは「文学です」と答える女性のことに勇気をもらおう。ああ、ちよつと正直すぎるよ、と心では思っても、うれしく思うのだ。

経済学、法学、工学、医学だけを、実社会に役立つ実学だと思っている人がとても多いが、果たしてそうか。人間の精神を育て、人間のために力をふるう文学は、実学なのだ。³ 人間の社会が不幸な方向に向かっているとしたら文学を役に立たないものと決めつける考えを、あらためなくてはならない。でもそのように思う人は少なくなつた。文学だけではない。思想も、哲学も、歴史学も同じ。すぐれたサイカクをもつ人たちがことばを吟味し、踏み固め、そこから差し出すものの多くはとうとい。本を読まない人がふえると、そんな話題も切り捨てられる。こんなことを述べても、「なんのことを言っているのか」と思う人のほうが、いまは多いかもしれない。

⁴ 読書をしないのは、他人への興味がなくなつたからだと思う。本は「自分が書くのではなく、すべて他人が書いたもの」だ。本を読まなくなるということは、他人が意識のなかから消えたためだ。小さいときからだいにされ、自分は重要な人だと思つてしまう。その他のことは見えなくなる。自分に体験できないことや、はるか遠いできごとが本のなかに書かれていれば、関係がないと思つてしまふ。しかしどんな遠いことがらでも、本を読んでいくと、ことばや語りの姿勢をとおして、興味を感じるようになる。そこからその人は、おおしく開かれていく。自分をひろげたり、深めることは自分ひとりではできない。人に学ばなくてはならない。いうまでもなく、とくに読書をしない人でもゆたかな人生を送ることはできる。大自然のなかで自然との対話をして暮らしている人は、そこからいろんなことを知り、人間として必要なことを学ぶ。だが自然との関係を失つたいまは、読書をしなくては人間らしい人間になれない。それがいまの状況である。そうはいつでも、ぼくもまた、読書はむずかしいなあ、と思うもののひとりだ。読もうとしても、なかなか進まない。(―中略―)

いまは、ものを書く人でも、あまり本を読まなくなつた。他人に興味のない人が、生まれながらに持ち合わせる文才で、するすると書く。小説のかたちをしていても、文学とは無縁なものが、どんどん生産され、ほんとうの文学の姿を知らない人たちのもとに届く。それを人は文学として、うけとめる。そういうことになつた。以前はどうだったのか。

^(注1) 昭和期に ^d カツヤクした作家田宮虎彦は、ある対談でこんなことを述べている。同世代の作家、井上友一郎が「読むのは好きですよ」というと、田宮虎彦は自分もそうだとし、こう語る。

「小説を読むというのと、書くというのと同じことじゃありませんか。たとえば、僕は自分で書いて一つの世界を作りますね。読んでいる場合でも、やっぱりそれを材料にして世界を作るわけでしょう。だから読者の文学はあり得ると思うのです。書く人と別のものではないという感じがするんです。つまり、それを本当に理解出来れば、いい作品を読むことはいいい作品を書くことと同じだと思ふのです。自分で解釈し、自分で組立てるわけですからね。」(中央公論社『日本の文学64』一九七〇／月報)

いいことばだと思ふ。書くことだけではなく、⁵ 読むことが世界をつくる。読む人のもつて、世界が生まれる。あらたまる。読んでも、読書をしたという実感が得られない。知識もふえない。そんな

人は、無理をする必要はない。人の話を聞くだけでもいい。そこから自然に、読書が生まれる。動き出す。

(注³⁾
デュマ・フィス『椿姫』を読んだ。深い感動をおぼえた。こう人に語っても「ああそうですか」かもしれない。でも、別の人がどこかで「椿姫」の話をしているのをきいたとする。「マルグリットはかわいいような女性だ。でも、ミリヨクがあるんだ」と、話しているのをきいたとする。一回だけきいただけだと、そのまま。二回になると、知識はからだに入ってくる。現実化する。強くなる。自分のなかで、「椿姫」が光り出す。誘われる。読みたいと思う。本のなかへ進む。そしてそこに新しい自分が現れてくるだろう。きいたことでも、読んだことでも、見かけたものでもいい。二つになると、はじまる。静かに動き出す。読書はいつもそのように行われてきた。

(荒川洋治「実学としての読書」による。ただし、本文の一部を省略した。)

(注) 1 田宮虎彦——小説家(一九一〇—一九八八)。代表作『足摺岬』『絵本』。

2 井上友一郎——小説家(一九〇九—一九九七)。代表作『残夢』。

3 デュマ・フィス——フランスの劇作家・小説家(一八二四—一八九五)。代表作『椿姫』。

問一 傍線 a と e のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 二重傍線 i 「あたりさわりのない」・ii 「吟味」の文中の意味として最も適当なものを一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- i ア 実用的な本のみに興味や関心を向けた
- イ 自分が不利にならないように配慮した
- ウ 本や書物を読んだことにはふれない
- エ 無難で自他の意見やことばを追究しない
- オ 教養や思考力をためさなくても良い

- ii ア 合っているかどうかを確認すること
- イ 慎重に考えて内容や使い方を深めること
- ウ 新たに発案しつくり出していくこと
- エ 想像することで役立てようとする
- オ 多くの時間をかけて選んでいくこと

問三 傍線 1 「その人と、しっかりとつながる言葉なのである」とあるが、この表現の意味する内容と合致しないものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 日ごろから、とてもよく本を読み、内容のある、いい読書をしている。

イ 話すとなかなか深いことをいい、知識もあり、いろんな面でセンスがある。

ウ 質問にストレートに答えても、人に悪い印象を与えないはずである。

エ 就職の面接では、「本を読むのも好きです」くらいに答えるのが適切である。
オ 「文学」をとおしてつくられた人間の言葉は、軽くみずに、だいに考えたい。

問四 傍線2 「人間はそんなものなのか」とあるが、筆者がこの文章を通じて問いかけていることは何か。最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 読書が好まれなくなっている傾向にはあるが、面接の人には、学生の本の好みや読書の量を参考にして、会社の採否を決定して欲しいと願っている。

イ 会社の面接では、今日の人間に適した話題をしなければ、会社には採用してもらえないような社会のシステムを嘆いている。

ウ たとえ会社に関わらない文学の話が学生が答えたとしても、面接の人は学生の話に耳を傾け、その人間性を見る余力を持って欲しいことを伝えている。

エ 文学は、人間の思考や想像の力となる「実学」であるはずだが、役に立たないものと決めつける人がふえてしまい、落胆した気持ちになっている。

オ 相手に話を合わせる人に比べて、教え子は自分の考えをはっきりと言いつけるが、その正直さが人を勇気づける場合があることを指摘している。

問五 傍線3 「人間の社会が不幸な方向に向かっている」ことを具体的に表現している箇所を文中から三十文字以内で探し、その始めの五文字を抜き出さない。(ただし、句読点も字数に含める。以下も同じ。)

問六 傍線4 「読書をしていないのは、他人への興味がなくなったからだと思う」について、次のI・IIの問いに答えなさい。

I 「読書」をし「他人への興味」を持つことで、人が得られることとは何か。文中から探し、十五文字以内で抜き出さない。

II 「読書」の代わりに人生を豊かにする方法として、筆者が指摘していることは何か。文中から探し、十字以内で抜き出さない。

問七 傍線5 「読むことが世界をつくる」とあるが、それはなぜか。文中の言葉を用いて、二十五文字以上三十文字以内で説明しなさい。

問八 この文章の表現や内容についての説明として適当なものを二つ選び、その記号を書きなさい。

ア 本を読む人が少なくなったが、どうして読書が必要かを若い世代に教える必要があるのに、おとなも本を読まなくなったため、筆者もその理由を説明する機会をなくしてしまった。

イ 筆者は、今日では読書らしい読書をする人が少なくなった現状を認識しながらも、「それでいいのか」と自問自答をすることで、文学や読書の大切さを伝えようとしている。

ウ 経済学・法学・工学・医学を現実社会に役立つ実学だと思っている人は多いが、その考えをあらためない限り、今日の不安な現実社会を解消し、人間の精神を育てることはできない。

エ 人が人間として必要なことを学ぶには、自分だけが重要で、他人やその他のことは関係ないと思ってしまう状況を変える必要がある、読書はその大切な役割をなうものとしてある。

オ 読書が苦手だという人は無理をする必要はなく、本に関する人の話をきいたり、見たりするだけでも、知識はからだに入ってきて、現実化し、読んだことと同じ結果が得られる。

国語

氏名

※欄には何も記入しないこと。

受験番号

*漢字は、はね・とめは採点者の判断とするが、基本は完答。
 *抜き出し、記述の解答内の「誤字・脱字」は、マイナスイ点で減点。△にする。

一

問一	a へい い ②	b 抽象 ②	c 反転 ②	d ばんさく ②	e 削除 ②
----	----------	--------	--------	----------	--------

問二	哲学は哲学 ④
----	---------

問三	オ ⑥
----	-----

問四	B ⑧	問五	ア ⑦
----	-----	----	-----

問六	イ ⑦
----	-----

問七	イ ⑧
----	-----

※合計

※一

二

問一	a 不在 ②	b 夢想 ②	c 才覚 ②	d 活躍 ②	e 魅力 ②
----	--------	--------	--------	--------	--------

問二	i エ ②	ii イ ②	問三	エ ④	問四	ウ ④
----	-------	--------	----	-----	----	-----

問五	心が崩壊し ⑤
----	---------

問六	II 自然との対話 ④	I 自分をひろげたり、深めること ④
----	-------------	--------------------

問七	自分で解釈し、自分で世界を組み立てることになるから ⑤
----	-----------------------------

問八	イ エ ⑤×2(順不同)
----	--------------

※二

2023 年度 静岡英和学院大学短期大学部

一般選抜一般

一般スカラシップ選考試験

現代コミュニケーション学科

食物栄養学科

英 語

I. 次の英文の空所(1~10)に入れるのに最も適当な語を選び、解答欄にその記号(a~d)を記入しなさい。

1. I (1) stay at home much longer, but the lesson started at 9 o'clock, so I left by 7:30.

- a. want to b. wanted to c. can d. could

2. Let's start jogging every Sunday (2) we will feel better during the week.

- a. so that b. because of c. or d. as long as

3. A cat jumping out of the dark makes me (3).

- a. anxious b. anxiously c. anxiety d. anxiousness

4. I got my car (4) at George's garage since it had a flat tire.

- a. repair b. repaired c. repairing d. to repair

5. How come (5) arrive here so early?

- a. he was able b. was he able to c. he could d. could he

6. I have never seen (6) of my school friends at the shopping mall.

- a. any b. neither c. somebody d. anyone

7. The concert (7) by the time I arrived at the theater.

- a. is starting b. was started c. has started d. had started

8. I think (8) possible that his sister will be a famous singer.

- a. so b. such c. it d. as

9. (9) Tom fails the examination, he will try it again.

- a. Because of b. Due to c. No matter d. Even if

10. As I saw Mary running in the park yesterday, she (10) have recovered.

- a. must b. can c. need d. should

II. 次の対話文の空所(1~5)を補うのに最も適当な文を選び、解答欄にその記号(a~d)を記入しなさい。

1. A: Hello. Can I reserve a table for six o'clock this evening?

B: Yes, I think so. For how many people?

A: For five.

B: (1)

- a. How many nights will you be staying?
b. That's fine. Do you have any food allergies?
c. Sorry, we're fully booked tomorrow night.
d. Sorry, we only have room for eight.

2. A: Here's your room, sir. After you.
B: Thank you. Oh, what a nice room!
A: The rooms on this side have a lovely view. Let me open the curtains for you.
B: (2)
- a. You're right! It's wonderful!
b. I don't like curtains.
c. I see nothing.
d. I have to check out soon.
3. A: Excuse me, may I sit here?
B: Sure. Go ahead.
A: Thank you. Do you know if this bus goes to the city center?
B: (3)
- a. No, you shouldn't sit in the center of the bus.
b. I don't know where you're going.
c. Keep going straight. You'll see it on the right.
d. Yes, it does, but it takes a long time.
4. A: I would like to remind you that your essay is due next Monday.
B: I'm almost finished, but I don't have a printer at home.
A: In that case, you'll have to use the one in the library.
B: (4)
- a. Thank you. My books are due back.
b. Thank you. I'll do that before the class starts.
c. Yes, the library staff told me about the due date.
d. That's right. The library is next to the cafeteria.
5. A: You parked in front of the hospital, so you must pay a parking fine.
B: Oh, I'm sorry. I didn't realize I wasn't allowed to park there.
A: The fine is fifteen thousand yen.
B: (5)
- a. Oh no! Please pay me the money.
b. But I don't have a card!
c. I see. Can I pay in cash?
d. It's fine with me if you pay it.

III. 次の日本語の意味を表すように（ ）の中の語句を並び替えて、2番目、4番目、6番目に来る語句の記号（ア～カ）を解答欄に記入しなさい。ただし文頭に来るものでも小文字になっているものもあります。

1. 彼は健康を犠牲にして働きすぎるなんてばかです。
He is (ア. at the イ. of ウ. to エ. cost オ. overwork カ. foolish) his health.
2. ころばぬ先の杖。
(ア. nine イ. saves ウ. in エ. a オ. time カ. stitch).
3. 英語を勉強する気になれません。
(ア. English イ. I ウ. can't エ. myself オ. to study カ. bring).
4. メアリは誰かに会うときはいつも、ほほ笑むように心がけています。
(ア. Mary イ. a ウ. of エ. smiling オ. point カ. makes) when she meets someone.
5. 頭痛で彼は眠れませんでした。
(ア. of イ. his ウ. him エ. deprived オ. sleep カ. a headache).
6. ニューヨーク出身のトムはお寿司が好きです。
(ア. New York イ. likes ウ. sushi エ. who's オ. Tom カ. from).
7. その学生はその単語を思い出すことさえできません。
The student (ア. remember イ. the word ウ. cannot エ. much オ. as カ. so).
8. 知識が豊富だったその人は、大学を卒業して先生になりました。
The man (ア. rich イ. became ウ. was エ. knowledge オ. whose カ. a teacher) after graduating from the university.
9. もしものすごくお金持ちだったら、どうしますか？
(ア. you イ. incredibly ウ. supposing エ. were オ. rich person カ. an), what would you do?
10. 大統領は辞任するそうです。
(ア. that イ. they ウ. will エ. say オ. resign カ. the president).

- IV. 次の二つの広告を読んで、それぞれの問題（1～5）に最も適当な答えを選び、解答欄にその記号（a～d）を記入しなさい。

The Big Apple Photo Contest

Big Apple Magazine is proud to announce its 15th annual photo contest. The theme of this year's contest is Diversity. New York City is diverse because people from all over the world and from different backgrounds live here. Our aim is to promote an appreciation of the diverse neighborhoods of New York City. To submit an entry, follow the steps below.

1. Click on the Submit button at the bottom of the page.
2. Select up to three photographs to submit.
3. Write 100-200 words for each photograph describing how it fits the theme (Diversity).

Deadline for Submissions: May 25th

First Prize: \$2,500

Second Prize: \$2,000

Third Prize: \$1,500

All winners will have their photos exhibited at the International Museum of Photography in New York City.

Submit

1. How often is this contest held?
 - a. Once a year.
 - b. Twice a year.
 - c. Three times a year
 - d. More than three times a year.
2. Which of the following photographs best suits the theme of this contest?
 - a. A photograph of a beautiful fountain.
 - b. A photograph of a famous building.
 - c. A photograph of a migrant shopkeeper.
 - d. A photograph of a suburb of Los Angeles.
3. According to the advertisement, which of the following is true?
 - a. The person in third place will receive \$2,500.
 - b. People need to use a digital device or a computer to enter the contest.
 - c. People need to submit their photos by the last day of May.
 - d. All winners' photos will be returned after the contest.

Rainbow Café			
Beverages		Sweets & Savories	
Coffee	\$3.00	Blueberry muffin	\$4.00
Cappuccino	\$4.50	Raspberry muffin	\$4.00
Espresso	\$3.50	Cheesecake	\$4.50
Black tea	\$3.00	Ham sandwich	\$6.00
Green tea	\$3.00	Vegetable sandwich	\$5.50
Hot chocolate	\$3.50	Tomato soup	\$4.50
Orange juice	\$3.50	Pumpkin soup	\$4.50
*Add tapioca pearls to any tea at no extra charge. *The breakfast special of one muffin with a drink of your choice for \$5.00 is available 9-11 a.m. *Chilled soup is available from June to September. *Allergy problems? Please ask our staff.			

4. To which drink can you add tapioca pearls?
- a. Coffee b. Black tea c. Orange juice d. Hot chocolate
5. Which of the following combinations is possible for the breakfast special?
- a. A coffee and a cheesecake
- b. Hot chocolate and a ham sandwich
- c. A blueberry muffin and a pumpkin soup
- d. A raspberry muffin and a green tea

V. 次の文章を読み、問い (A. B.) に答えなさい。

Bananas

It is one of the world's most popular fruits. It is so easy to eat, just peel back the skin, and bite. Then you can enjoy the flavor and texture of a banana. It is a long, yellow fruit with a slight curve. The skin is smooth and tough, and the flesh inside is a creamy, white color with a sweet taste. An average banana weighs 110-140 grams, and is 17-24 cm in length. The white flesh of a banana is about 75% water. It (1)has many important nutrients, including sugars, proteins and fiber. It also has vitamins B6 and C, and very little fat.

A banana is a tasty, nutritious snack, and can provide a quick energy boost. It is a (2)handy size, and the thick skin acts as a protective case around the succulent flesh, so it is easily carried in a bag or a pocket. Many sportspeople eat a banana (3)while they are playing, especially tennis players and golfers, but not all bananas are eaten straight from the skin.

Bananas are very easy to cut and slice. They are found in many kinds of food and drinks, from banana bread to milkshakes, from pancakes to curry. Of course, there is also the banana split. A banana is sliced in half from one end to the other, and put in a long, glass bowl, known as a 'boat'. Three scoops of ice-cream, usually chocolate, vanilla and strawberry, are placed on the slices. Chocolate sauce and cream are added, some nut pieces are sprinkled over everything, and it is served with a big, red cherry on the top. A banana split is high in calories, but is so sweet and delicious.

Banana trees were originally found in Indonesia and Papua New Guinea about 10,000 years ago, and now there are about 156 million (156,000,000) tons of bananas grown all over the world each year. The main producers are India (30 million tons), China (12 million tons), and the Philippines (10 million tons). So these three countries combined produce about one third of the world's banana crop.

Even though it is called a tree, a banana tree is not a true tree. It is a big, strong plant. It needs to be strong because one plant can produce a bunch of up to 250 bananas, which can weigh about 50 kg. At first the bananas are green, and after picking they turn yellow. There are also red, purple and orange varieties, but it is the yellow variety, known as the Cavendish banana which accounts for nearly all the bananas sold in shops and supermarkets around the world.

Customers can be confident that wherever they buy their bananas, they will get the Cavendish variety, which will all have a similar flavor. However, widespread use of a single variety also increases vulnerability to disease; and this is what has happened. Cavendish variety banana trees are being killed by a disease which is slowly spreading across the world. It is like a banana pandemic, causing the number of banana trees to steadily decrease. If nothing is done then most banana trees will die.

Bananas will become very rare and very expensive, and only wealthy people will (4) be able to afford a banana split.

Scientists are (5) trying to develop new varieties of bananas of a similar size and similar taste, which are resistant to this disease, but it will take many years. In the near future there will probably be fewer bananas; the price will increase until science comes to the rescue with new, and maybe better, types of bananas.

注 succulent 水分の多い vulnerability 脆弱性 pandemic 世界的流行 resistant 耐性のある

A. 文中の下線部(1~5)の単語の意味として最も近いものを、それぞれ下の(a~d)から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) has

- a. owns b. keeps c. contains d. becomes

(2) handy

- a. convenient b. fast c. skillful d. energetic

(3) while they are playing

- a. when they are losing c. after a match
b. to improve their skill d. during a competition

(4) be able to afford

- a. have time for c. have enough money to buy
b. eat and enjoy d. prepare and serve

(5) trying

- a. attempting b. demanding c. making d. annoying

B. 次の(1~3)のうち、本文の内容と合っているものにはTを、合っていないものにはFを解答欄に記入しなさい。

1. All bananas are exactly the same size.
2. About 33% of the world's bananas are grown in the Philippines.
3. The world's crop of bananas will probably decrease in the near future.

VI. 道に迷っている人がいます。
あなたはどのような声をかけますか。
英語2文で書きなさい。



2023年度 静岡英和学院大学短期大学部
 一般選抜一般・一般スカラシップ選考試験
 (現代コミュニケーション学科・食物栄養学科)

英語 解答用紙

※印には記入しないこと。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

※

I 各2点 2点×10問=20点

(1)	b	(2)	a	(3)	a	(4)	b	(5)	c	
(6)	a	(7)	d	(8)	c	(9)	d	(10)	a	※

II 各2点 2点×5問=10点

(1)	b	(2)	a	(3)	d	(4)	b	(5)	c	※
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	---

III 各4点 4点×10問=40点

	2番目	4番目	6番目
(1)	ウ	ア	イ
(2)	カ	オ	ア
(3)	ウ	エ	ア
(4)	カ	オ	エ
(5)	エ	ア	オ

ただし3つすべて正解して4点

	2番目	4番目	6番目
(6)	エ	ア	ウ
(7)	カ	オ	イ
(8)	エ	ア	カ
(9)	ア	カ	オ
(10)	エ	カ	オ

IV 各2点 2点×5問=10点

(1)	a	(2)	c	(3)	b	(4)	b	(5)	d	※
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	---

VA 各2点 2点×5問=10点

(1)	c	(2)	a	(3)	d	(4)	c	(5)	a	※
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	---

VB 各2点×3問

(1)	F	(2)	F	(3)	T	※
-----	---	-----	---	-----	---	---

VI 4点

Ex. What's the matter with you?

Do you need help?

※

2023 年度 静岡英和学院大学短期大学部

推薦スカラシップ選考試験

現代コミュニケーション学科

食物栄養学科

英 語

I. 次の英文の空所(1~10)に入れるのに最も適当な語を選び、解答欄にその記号(a~d)を記入しなさい。

1. I (1) stay at home much longer, but the lesson started at 9 o'clock, so I left by 7:30.
a. want to b. wanted to c. can d. could
2. Let's start jogging every Sunday (2) we will feel better during the week.
a. so that b. because of c. or d. as long as
3. A cat jumping out of the dark makes me (3).
a. anxious b. anxiously c. anxiety d. anxiousness
4. I got my car (4) at George's garage since it had a flat tire.
a. repair b. repaired c. repairing d. to repair
5. How come (5) arrive here so early?
a. he was able b. was he able to c. he could d. could he
6. I have never seen (6) of my school friends at the shopping mall.
a. any b. neither c. somebody d. anyone
7. The concert (7) by the time I arrived at the theater.
a. is starting b. was started c. has started d. had started
8. I think (8) possible that his sister will be a famous singer.
a. so b. such c. it d. as
9. (9) Tom fails the examination, he will try it again.
a. Because of b. Due to c. No matter d. Even if
10. As I saw Mary running in the park yesterday, she (10) have recovered.
a. must b. can c. need d. should

II. 次の対話文の空所(1~5)を補うのに最も適当な文を選び、解答欄にその記号(a~d)を記入しなさい。

2. A: Hello. Can I reserve a table for six o'clock this evening?

B: Yes, I think so. For how many people?

A: For five.

B: (1)

- a. How many nights will you be staying?
- b. That's fine. Do you have any food allergies?
- c. Sorry, we're fully booked tomorrow night.
- d. Sorry, we only have room for eight.

3. A: Here's your room, sir. After you.
B: Thank you. Oh, what a nice room!
A: The rooms on this side have a lovely view. Let me open the curtains for you.
B: (2)
- a. You're right! It's wonderful!
b. I don't like curtains.
c. I see nothing.
d. I have to check out soon.
4. A: Excuse me, may I sit here?
B: Sure. Go ahead.
A: Thank you. Do you know if this bus goes to the city center?
B: (3)
- a. No, you shouldn't sit in the center of the bus.
b. I don't know where you're going.
c. Keep going straight. You'll see it on the right.
d. Yes, it does, but it takes a long time.
5. A: I would like to remind you that your essay is due next Monday.
B: I'm almost finished, but I don't have a printer at home.
A: In that case, you'll have to use the one in the library.
B: (4)
- a. Thank you. My books are due back.
b. Thank you. I'll do that before the class starts.
c. Yes, the library staff told me about the due date.
d. That's right. The library is next to the cafeteria.
6. A: You parked in front of the hospital, so you must pay a parking fine.
B: Oh, I'm sorry. I didn't realize I wasn't allowed to park there.
A: The fine is fifteen thousand yen.
B: (5)
- a. Oh no! Please pay me the money.
b. But I don't have a card!
c. I see. Can I pay in cash?
d. It's fine with me if you pay it.

III. 次の日本語の意味を表すように（ ）の中の語句を並び替えて、2番目、4番目、6番目に来る語句の記号（ア～カ）を解答欄に記入しなさい。ただし文頭に来るものでも小文字になっているものもあります。

1. 彼は健康を犠牲にして働きすぎるなんてばかです。
He is (ア. at the イ. of ウ. to エ. cost オ. overwork カ. foolish) his health.
2. ころばぬ先の杖。
(ア. nine イ. saves ウ. in エ. a オ. time カ. stitch).
3. 英語を勉強する気になれません。
(ア. English イ. I ウ. can't エ. myself オ. to study カ. bring).
4. メアリは誰かに会うときはいつも、ほほ笑むように心がけています。
(ア. Mary イ. a ウ. of エ. smiling オ. point カ. makes) when she meets someone.
5. 頭痛で彼は眠れませんでした。
(ア. of イ. his ウ. him エ. deprived オ. sleep カ. a headache).
6. ニューヨーク出身のトムはお寿司が好きです。
(ア. New York イ. likes ウ. sushi エ. who's オ. Tom カ. from).
7. その学生はその単語を思い出すことさえできません。
The student (ア. remember イ. the word ウ. cannot エ. much オ. as カ. so).
8. 知識が豊富だったその人は、大学を卒業して先生になりました。
The man (ア. rich イ. became ウ. was エ. knowledge オ. whose カ. a teacher) after graduating from the university.
9. もしものすごくお金持ちだったら、どうしますか？
(ア. you イ. incredibly ウ. supposing エ. were オ. rich person カ. an), what would you do?
10. 大統領は辞任するそうです。
(ア. that イ. they ウ. will エ. say オ. resign カ. the president).

- IV. 次の二つの広告を読んで、それぞれの問題（1～5）に最も適当な答えを選び、解答欄にその記号（a～d）を記入しなさい。

The Big Apple Photo Contest

Big Apple Magazine is proud to announce its 15th annual photo contest. The theme of this year's contest is Diversity. New York City is diverse because people from all over the world and from different backgrounds live here. Our aim is to promote an appreciation of the diverse neighborhoods of New York City. To submit an entry, follow the steps below.

1. Click on the Submit button at the bottom of the page.
2. Select up to three photographs to submit.
3. Write 100-200 words for each photograph describing how it fits the theme (Diversity).

Deadline for Submissions: May 25th

First Prize: \$2,500

Second Prize: \$2,000

Third Prize: \$1,500

All winners will have their photos exhibited at the International Museum of Photography in New York City.

Submit

1. How often is this contest held?
 - a. Once a year.
 - b. Twice a year.
 - c. Three times a year
 - d. More than three times a year.
2. Which of the following photographs best suits the theme of this contest?
 - a. A photograph of a beautiful fountain.
 - b. A photograph of a famous building.
 - c. A photograph of a migrant shopkeeper.
 - d. A photograph of a suburb of Los Angeles.
3. According to the advertisement, which of the following is true?
 - a. The person in third place will receive \$2,500.
 - b. People need to use a digital device or a computer to enter the contest.
 - c. People need to submit their photos by the last day of May.
 - d. All winners' photos will be returned after the contest.

Rainbow Café			
Beverages		Sweets & Savories	
Coffee	\$3.00	Blueberry muffin	\$4.00
Cappuccino	\$4.50	Raspberry muffin	\$4.00
Espresso	\$3.50	Cheesecake	\$4.50
Black tea	\$3.00	Ham sandwich	\$6.00
Green tea	\$3.00	Vegetable sandwich	\$5.50
Hot chocolate	\$3.50	Tomato soup	\$4.50
Orange juice	\$3.50	Pumpkin soup	\$4.50
*Add tapioca pearls to any tea at no extra charge. *The breakfast special of one muffin with a drink of your choice for \$5.00 is available 9-11 a.m. *Chilled soup is available from June to September. *Allergy problems? Please ask our staff.			

4. To which drink can you add tapioca pearls?
- a. Coffee b. Black tea c. Orange juice d. Hot chocolate
5. Which of the following combinations is possible for the breakfast special?
- a. A coffee and a cheesecake
- b. Hot chocolate and a ham sandwich
- c. A blueberry muffin and a pumpkin soup
- d. A raspberry muffin and a green tea

V. 次の文章を読み、問い (A. B.) に答えなさい。

Bananas

It is one of the world's most popular fruits. It is so easy to eat, just peel back the skin, and bite. Then you can enjoy the flavor and texture of a banana. It is a long, yellow fruit with a slight curve. The skin is smooth and tough, and the flesh inside is a creamy, white color with a sweet taste. An average banana weighs 110-140 grams, and is 17-24 cm in length. The white flesh of a banana is about 75% water. It (1)has many important nutrients, including sugars, proteins and fiber. It also has vitamins B6 and C, and very little fat.

A banana is a tasty, nutritious snack, and can provide a quick energy boost. It is a (2)handy size, and the thick skin acts as a protective case around the succulent flesh, so it is easily carried in a bag or a pocket. Many sportspeople eat a banana (3)while they are playing, especially tennis players and golfers, but not all bananas are eaten straight from the skin.

Bananas are very easy to cut and slice. They are found in many kinds of food and drinks, from banana bread to milkshakes, from pancakes to curry. Of course, there is also the banana split. A banana is sliced in half from one end to the other, and put in a long, glass bowl, known as a 'boat'. Three scoops of ice-cream, usually chocolate, vanilla and strawberry, are placed on the slices. Chocolate sauce and cream are added, some nut pieces are sprinkled over everything, and it is served with a big, red cherry on the top. A banana split is high in calories, but is so sweet and delicious.

Banana trees were originally found in Indonesia and Papua New Guinea about 10,000 years ago, and now there are about 156 million (156,000,000) tons of bananas grown all over the world each year. The main producers are India (30 million tons), China (12 million tons), and the Philippines (10 million tons). So these three countries combined produce about one third of the world's banana crop.

Even though it is called a tree, a banana tree is not a true tree. It is a big, strong plant. It needs to be strong because one plant can produce a bunch of up to 250 bananas, which can weigh about 50 kg. At first the bananas are green, and after picking they turn yellow. There are also red, purple and orange varieties, but it is the yellow variety, known as the Cavendish banana which accounts for nearly all the bananas sold in shops and supermarkets around the world.

Customers can be confident that wherever they buy their bananas, they will get the Cavendish variety, which will all have a similar flavor. However, widespread use of a single variety also increases vulnerability to disease; and this is what has happened. Cavendish variety banana trees are being killed by a disease which is slowly spreading across the world. It is like a banana pandemic, causing the number of banana trees to steadily decrease. If nothing is done then most banana trees will die.

Bananas will become very rare and very expensive, and only wealthy people will (4) be able to afford a banana split.

Scientists are (5) trying to develop new varieties of bananas of a similar size and similar taste, which are resistant to this disease, but it will take many years. In the near future there will probably be fewer bananas; the price will increase until science comes to the rescue with new, and maybe better, types of bananas.

注 succulent 水分の多い vulnerability 脆弱性 pandemic 世界的流行 resistant 耐性のある

A. 文中の下線部(1～5)の単語の意味として最も近いものを、それぞれ下の(a～d)から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) has

- a. owns b. keeps c. contains d. becomes

(2) handy

- a. convenient b. fast c. skillful d. energetic

(3) while they are playing

- a. when they are losing c. after a match
b. to improve their skill d. during a competition

(4) be able to afford

- a. have time for c. have enough money to buy
b. eat and enjoy d. prepare and serve

(5) trying

- a. attempting b. demanding c. making d. annoying

B. 次の(1～5)のうち、本文の内容と合っているものにはTを、合っていないものにはFを解答欄に記入しなさい。

1. All bananas are exactly the same size.
2. About 33% of the world's bananas are grown in the Philippines.
3. The world's crop of bananas will probably decrease in the near future.
4. A banana is thought to be a nutritious food.
5. Scientists hope to develop new varieties of bananas to replace the Cavendish variety.

英語 解答用紙

※印には記入しないこと。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

※

I 各2点 2点×10問=20点

(1)	b	(2)	a	(3)	a	(4)	b	(5)	c	
(6)	a	(7)	d	(8)	c	(9)	d	(10)	a	※

II 各2点 2点×5問=10点

(1)	b	(2)	a	(3)	d	(4)	b	(5)	c	※
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	---

III 各4点 4点×10問=40点

ただし3つすべて正解して4点

	2番目	4番目	6番目		2番目	4番目	6番目	
(1)	ウ	ア	イ	(6)	エ	ア	ウ	
(2)	カ	オ	ア	(7)	カ	オ	イ	
(3)	ウ	エ	ア	(8)	エ	ア	カ	
(4)	カ	オ	エ	(9)	ア	カ	オ	
(5)	エ	ア	オ	(10)	エ	カ	オ	※

IV 各2点 2点×5問=10点

(1)	a	(2)	c	(3)	b	(4)	b	(5)	d	※
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	---

VA 各2点 2点×5問=10点

(1)	c	(2)	a	(3)	d	(4)	c	(5)	a	※
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	---

VB 各2点 2点×5問=10点

(1)	F	(2)	F	(3)	T	(4)	T	(5)	T	※
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	---